

【連載】

わかると



障がい者基幹
相談支援センター
だより

第27回

障がいのあるかたの 日中活動と支援について(1)



障がいのあるかたが利用する「生活介護」は、
どんなサービスですか？



「生活介護」では、主に昼間の時間帯に施設へ通所して、入浴や排泄、食事などの日常生活の支援やレクリエーションや外出行事などの余暇活動の機会、また、軽作業を通じた就労の機会を得ることが出来ます。

「生活介護」の利用によって、障がいのあるかたの身体的な機能や、生活能力が向上し、自立した生活の促進や生活の質の向上、社会参加が図られるよう支援が行われています。



「生活介護」を行っている施設はどこにあるのですか？



市内には11ヶ所あります(令和元年11月現在)。各施設について、市役所福祉課や各相談支援事業所などの窓口にある「福祉サービスあらかると」に情報の掲載があります。利用するには、市役所福祉課の窓口で利用申請など所定の手続きが必要です。



次回は、障がいのあるかたの日中活動と支援について(2)お伝えします。

※本会ではノーマライゼーションの理念を推進する観点から広報紙面などにおける「障害」の表記を、「障がい」と一部ひらがな表記に努めています。

※ノーマライゼーションの理念とは、デンマークにおける知的障がい者の親の運動から広がった考え方で、障がいのある人もない人も、みんなが安心して生活をおくることの出来る地域社会を築くことをめざすものです。

【連載】

高齢者後立ち かわら版

第25回



「セルフネグレクト」

近年、高齢者だけでなく、若者の間でも増加し、社会問題となっている「セルフネグレクト」について紹介します。

セルフネグレクトとは、「自分自身を自己放任し、自分に関心がない人またはその状態」を表します。

< セルフネグレクトの一例 >

- ・入浴もせず、同じ服を何日も着ているため身体や服から臭いがする。
- ・部屋の掃除が全くされず、ゴミ屋敷状態になる。
- ・周りの人々と接触を拒絶する傾向が強くなる。

セルフネグレクトの予防には、まずは「家族など周りの人が本人とコミュニケーションを取り、孤独状態を作らないこと」が大切です。

次回は「介護保険サービス」についてお伝えします。

